

(様式1)

真教教第 号

令和6年1月10日

文部科学大臣 殿

真庭市長 太田 昇

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

真庭市公立学校等施設整備計画

2. 計画期間

令和5年度～令和5年度（1年間）

（担当）

真庭市教育委員会教育総務課

住所：岡山県真庭市久世2927-2

電話：0867-42-1085

[メール: yasumitsu_egawa@city.maniwa.lg.jp](mailto:yasumitsu_egawa@city.maniwa.lg.jp)

(様式2)

3. 事後評価の実施

(1) 実施時期

令和6年1月 評価検討会議を開催
令和6年1月 評価結果を決定

(2) 評価の方法

教育委員会事務局による評価検討会議を実施し、評価する。

4. 総合的な所見

施設整備計画の目標を達成することができた。
築40年(S60年竣工)をまもなく迎える川上小学校校舎棟は、屋根外壁の劣化、建具の老朽化、一部床の劣化といった課題を抱えていた。
今回の改修計画で外部改修を行い防水機能を回復させ、また床の改修で鋼製束の腐食を取り除いたことで、事故前に児童の安全を確保できたことは大きい。
その他内部建具の改修による気密性の向上、老朽化した暖房器具の更新など、岡山県北部の豪雪地帯に立地している川上小学校の教育環境の向上につながった。
内部工事では照明のLED化も行い、空調の省エネ化、効率化も併せて真庭市が推進する真庭市地球温暖化対策実行計画の脱炭素の取り組みに寄与することになった。

5. 各目標の達成状況

(1) 老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

築40年を迎えようとする校舎棟は屋根の劣化が著しく、カバー工法により既存の屋根に新たな屋根を設置することで防水機能を高める事ができた。また外壁のコンクリート部分等に撥水塗装を施すなど防水対策により、コンクリートの中性化防止、鉄筋のさび防止による長寿命化がおおいに期待できる。

(2) 新時代の学びを支える安全・安心な教育環境の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 教室不足の解消等を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

豪雪地帯の立地に対して建具の気密性断熱性能の低さによるエネルギーロスや学習環境の悪さを建具改修で改善できた。また暖房機器の更新による高効率化、照明のLED化も教育環境の改善と真庭市が進める真庭市地球温暖化対策実行計画の推進となった。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
川上小学校	(1)	02	予防改修事業	校	R	R5.6.29～R6.2.29	R5.12.26		
川上小学校	(4)	06	大規模改造(教育内容)	校	R	R5.6.29～R6.2.29	R5.12.26		